

## 平成29年度 外国人特別研究員(一般・第2回) 採用者一覧

※通知文書は順次発送いたします。8月中旬までに届かない場合は、日本学術振興会人物交流課までご連絡ください。

氏名・国籍	受入研究者	専攻分野	研究課題	採用期間
LI Yuan 中国	安岡 孝一 京大・教授	図書館情報学・人文社会情報学	日本古辞書の翻刻階層モデルの構築に関する人文情報学的研究	2017/09/01～2019/08/31 (24か月間)
NGUYEN David Ngoc 米国	小貫 元治 東大・准教授	社会システム工学・安全システム	訪日観光客の災害リスク認知と観光業・行政サイドの防災戦略について	2017/10/01～2019/09/30 (24か月間)
GU Jie 中国	チン ユ 東大・准教授	社会システム工学・安全システム	社会と組織の最適化のための進化型知識管理学の創立	2017/09/01～2019/08/31 (24か月間)
CUNNINGHAM Alastair Charles 英国	田村 亨 産総研・主任研究員	地理学	カリ長石光ルミネッセンスの探求による日本の完新世堆積物の年代測定の高度化	2017/10/01～2019/09/30 (24か月間)
LIU Dongfei 中国	片岡 一則 (公益)川崎市産業振興財団・センター長	生体医工学・生体材料学	マイクロ流体デバイスを用いた薬物内包多層微粒子の作成とがん標的治療への展開	2017/09/01～2019/08/31 (24か月間)
WAECHTER Michael ドイツ	松下 康之 阪大・教授	知覚情報処理	未較正画像データを用いた高精度3次元復元と写実的なレンダリング	2017/09/01～2019/08/31 (24か月間)
YEM Vibol カンボジア	梶本 裕之 電通大・准教授	ヒューマンインタフェース・インタラクション	電気刺激と機械刺激を併用した触覚ディスプレイの提示アルゴリズムの研究	2017/11/01～2019/10/31 (24か月間)
CROPPER Andrew 英国	井上 克巳 情報システム研究機構・教授	知能情報学	忘却を伴う継続的機械学習	2017/10/30～2019/10/29 (24か月間)
LIN Chun-Yu 台湾	阿久津 達也 京大・教授	生命・健康・医療情報学	汎がんモジュールとネットワーク解析による制御部分ネットワークの同定	2017/10/01～2019/09/30 (24か月間)
VIKROMVARASIRI Nunthaphan タイ	中崎 清彦 東工大・教授	環境技術・環境負荷低減	単離したセルロース生成好熱菌による廃グリセロールからのバクテリアセルロース生産	2017/09/01～2019/08/31 (24か月間)
PAWAR Radheshyam Rama インド	笹木 圭子 九大・教授	環境材料・リサイクル	光触媒機能を付与した環境修復材の応用に向けた金属有機構造体・粘土鉱物複合体の合成	2017/09/01～2019/08/31 (24か月間)
LI Junjie 中国	片岡 一則 (公益)川崎市産業振興財団・センター長	生体医工学・生体材料学	腫瘍内で薬剤を長期間にわたって生成するナノリアクタシステムの構築	2017/09/01～2019/08/31 (24か月間)
ZAHND Guillaume Pierre フランス	佐藤 嘉伸 奈良先端大・教授	医用システム	4次元超音波画像による頸動脈動態パターン解析:心血管疾患リスクの新バイオマーカー	2017/09/01～2019/08/31 (24か月間)
KIM Ji Yoon 韓国	西廣 淳 東邦大・准教授	自然共生システム	気候変動・土地変化の進行に伴う湿地の生物多様性変化の予測	2017/09/01～2019/08/31 (24か月間)
LEE Kang 韓国	江前 敏晴 筑波大・教授	文化財科学・博物館学(B)	表装された日本画の本紙/肌裏紙/環境間の物質動態劣化機構の解明と保存技術の確立	2017/11/01～2019/10/31 (24か月間)
CROWLEY Samuel Thomas 米国	位高 啓史 医科歯科大・教授	生体医工学・生体材料学	mRNA投与による脊髄損傷治療	2017/09/01～2019/08/31 (24か月間)
THORAT Nanasheeb Devappa インド	新留 琢郎 熊本大・教授	生体医工学・生体材料学	磁場でコントロールできる抗菌活性磁性ナノ粒子の開発	2017/09/01～2019/08/31 (24か月間)
EVANGELIDIS Pavlos Eleftherios ギリシャ	川上 泰雄 早稲田大・教授	スポーツ科学(B)	ハムストリングスの収縮中ストレス分布の解析:スポーツにおける肉離れとの関連性	2017/10/01～2019/09/30 (24か月間)